

山 形 S C 通 信



第2学期の科目登録は、8月15日スタート

2023年度第2学期に履修する科目の登録が始まります。

登録期間は、8月15日(火)～8月31日(木)

科目登録方法には、【郵送方式】と【WAKABA方式】の2通りがあります。

是非、【WAKABA】を利用して登録することをお勧めします！

(科目登録は、システムWAKABA「教務情報➡科目登録申請」から申請してください。)

【WAKABA】方式のメリット

☆登録期間内は 何回でも修正が出来ます。(郵送申請は、郵送すると変更はできません)

☆第1学期の成績発表後(8月20日くらいの見込み)その結果を見てからでも

余裕をもって検討・登録できます。



わかる

第2学期 面接授業の特徴

山形学習センターで2学期に開講する「面接授業」の特徴について「担当の先生」からメッセージをいただきました。是非、履修選択にお役立てください。



教育心理学

関口雄一先生 (山形大学准教授)

今年度の教育心理学は、人は生涯にわたりどのように変化するのか、私たちの性格や行動パターンはどのように形成されてきたのか、目に見えない心をどのように測定するのか、環境に適応するとはどういうことか、といった問いについて受講生の皆さんと議論し、考察を深めていく授業にしたいと考えています。

11月4日～5日

心理と教育コース



心理検査法基礎実習

佐藤宏平先生 (山形大学教授)

心理検査は、パーソナリティや知能等、個人の諸特性について測定するためのツールです。本講義では、こうした心理検査について概説した上で、代表的な心理検査を取り上げ、演習を通して実際に心理検査を体験することで、心理検査や「心」を測定することの難しさについての理解を深めていただければと思います。よろしくお願いします。

12月9日～10日

心理と教育コース



ゲーム理論で読み解く社会と進化

大西仁先生（放送大学教授）

ゲーム理論は、互いの利害が絡み合う複数の意思決定者が自身の利得を最大にするための意思決定を分析する手法です。経済学だけでなく、国家間の交渉、スポーツにおける駆け引き、慣習の起源、生物進化など幅広い領域で興味深い現象の解明に利用されています。このように魅力的な学問に触れてみませんか？

11月18日～19日

情報コース

自然言語処理

原一夫先生（山形大学教授）

私は辛いカレーが好きですが、辛くておいしいカレーを自分では作れません。

この文を書いた人は、自炊派でしょうか、それとも、外食派でしょうか。おそらく外食派でしょう。

授業では、このようなことばの解釈ができるコンピュータの手法を学びます。

11月11日～12日

情報コース

東南アジアの二〇世紀史

今村真央先生（山形大学教授）

東南アジア地域のイメージは世代によって異なります。植民地支配、第二次世界大戦、冷戦の時代を想起する世代もあれば、華やかなビーチやショッピングモールを思い出す世代もあり、そして最近観たBLドラマの舞台を夢想する世代もあります。様々なイメージに反映される、東南アジアの激動の20世紀を一気に学びましょう。

12月16日～17日

人間と文化コース

山形の酒造りと文化

荒木志伸先生（山形大学教授）

小関敏彦先生（山形大学客員教授）

2023年5月の全国新酒鑑評会で、山形の日本酒は金賞受賞酒数で全国1位となりました。1日目の講義では、そのおいしさの秘密、独自の酒造りや官民一体の取り組みなどについて学びます。また、古代から東北地方でお酒が果たした社会的役割について歴史的に学びます。2日目には、庄内地方の酒蔵で実際に造りをおこなっている貴重な現場や、その風土について博物館等で触れる機会を設けています。

11月11日～12日

人間と文化コース



地域と美術館

岡部信幸先生（山形美術館・副館長）

黒澤匠先生（山形美術館・学芸員）

みなさんは今年、どんな展覧会をご覧になったでしょうか。あるいは開催を楽しみにしている展覧会があるでしょうか。この授業では、美術館活動における展覧会の意義や企画展の実際を通して、地域における美術館の役割を学んでいただきます。後半には美術館の見学もあります。

12月23日～24日

人間と文化コース



六歌仙の時代

藤田洋治先生（放送大学客員教授）

古今集の歌風がもっともよく表れているのが貫之などの撰者たちではなく、小町や業平などの六歌仙の歌人たちなのだとは昔から言われていることです。

和歌の表現技巧に優れているだけではなく、表現の奥に作者の感動もしっかりと含まれている和歌を丁寧に味わってみたいと思います。

11月4日～5日

人間と文化コース

環境と化学

近藤慎一先生（山形大学教授）

ニュースでも気候変動や環境問題が注目されています。これは科学（化学）技術の発展の負の側面であるとも言えます。この講義ではいくつかのトピックスを通じて、環境問題を化学的視点でとらえてみます。皆さんの思い込みや感覚ではなく、理性的に自分で考えられるように、授業を通して基礎から学習します。

11月18日～19日

自然と環境コース



アジアと東北の農業：過去～未来

佐藤智先生（山形大学准教授）

留学生や特別ゲストとのやり取りを適宜行い、ときには身近な生き物を懐から取り出して、講義室という限られた空間の中からも世界が見える、そんなライブ感覚の、さざ波のような・・・または荒れた冬の日本海のように・・・その時その瞬間にできる精一杯で授業しています。どうぞお楽しみに。

12月2日～3日

自然と環境コース

転倒予防における基礎知識と実践

佐藤寿晃先生（山形県立保健医療大学教授）

高齢者の介護要因の大きな原因の1つとして、転落・転倒による骨折があります。今回の授業では、転ばない（転倒）体づくりには、何が必要かについてお話します。また自宅できる運動の紹介・体験も予定しておりますので、興味のある方は、是非ご参加ください。

1月6日～7日

生活と福祉コース



福祉機器・福祉用具の基礎と応用

千葉登先生（山形県立保健医療大学准教授）

高齢社会に伴い、介護を必要とする方も身近になりました。

介護の負担軽減、生活の手助けになる福祉機器について学びませんか？

体験型の授業ですの是非受講してみてください。

12月2日～3日

生活と福祉コース

はじめての看護技術（その3）

半田直子先生（山形県立保健医療大学准教授）

授業の内容は、毎年ちょっとずつ入れ替えています。「はじめての看護技術1・2」を受講しているけど、もう一度復習したい方、これまで受講したことがなく初めての方、どなたでも大歓迎です。難しい技術の習得を目指しているのではなく、ちょっとした看護のコツをお伝えしたいと思っていますので、気軽に参加してください。

12月16日～17日

生活と福祉コース

在来作物の魅力と活用その2

江頭宏昌先生（山形大学教授）

昨年も講義を行わせていただきましたが、今年は座学だけではなく、現地訪問の機会を設けます。村山地域を代表するいくつかの在来作物の栽培農家を訪問して、直接お話を聞きます。農家がどのような想いで、またどんな苦勞をしながら栽培しているか、現場を知ることにより、一層、在来作物の価値を実感できると思います。

10月28日～29日

社会と産業コース

